

2023年6月26日

東京都知事 殿

郵便番号 101-0047

特定非営利活動法人の主たる事務所の所在地

東京都千代田区内神田1丁目5番1号

トライエム大手町ビル7階

特定非営利活動法人の名称

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク

代表者氏名 理事長 古川隆三郎 印

電話番号 03-3219-2990

ファクシミリ番号 03-3518-9920

事業報告書等提出書

（2022年度）

前事業年度（2022年5月1日から2023年4月30日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第29条（同法第52条第1項（同法第62条において準用する場合を含む。）の規定により読み替えて適用する場合を含む。）及び特定非営利活動促進法施行条例第4条の規定に基づき、下記の書類を提出します。

記

- 1 事業報告書
- 2 活動計算書
- 3 貸借対照表
- 4 計算書類の注記
- 5 財産目録
- 6 前事業年度の年間役員名簿
- 7 前事業年度末日における社員のうち10人以上の者の名簿

2022年度日本ジオパークネットワーク事業報告

2022年5月1日～2023年4月30日

1. 事業概要

(1) 組織の現状及び推進体制について

① 会員加盟状況

2022年度は、霧島の日本ジオパーク新規認定（エリア拡大）が2022年9月28日に決定されたが、正会員数の増減はなかった。また、準会員の東三河、北九州、飛騨小坂の3地域が2023年3月31日に退会した。これにより、日本ジオパークに認定された正会員は46地域、日本ジオパークを目指す準会員は7地域となり、JGNは53地域（169市町村）によって構成されている（2023年4月30日現在）。

② 事務局体制

JGN事務局は、2022年9月まではJGNが雇用する正職員1名（事務局次長：総括）および臨時職員2名、事務局長1名（糸魚川）、事務局次長1名（島原半島）の5人体制であったが、2022年10月に正職員を事務局長とし、前事務局長の糸魚川からの派遣が10月末をもって終了した。なお、前事務局長は10月以降も事務局次長として糸魚川から事務局業務を担っている。2023年2月からは、白山手取川の職員1名がJGN事務局での実務研修を開始した。また、2023年4月に白山市東京事務所がJGN事務所に移転し、従前からJGN事務局員として事務局機能を担っていた白山市東京事務所所長もJGN事務所に常駐する体制となった。さらに、2023年4月には、臨時職員2名のうち1名を正職員とし、安定的な運営体制の整備を進めた。このほかに、島原半島、隠岐、下北、三笠の4地域から各1名が事務局次長として、下北と萩の2地域から各1名が事務局員として、それぞれネットワークの主体として事務局機能を担っている状況である。

③ 財政状況

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が減少してきたため、過去2年と比較して対面での会議やイベント等の事業が増加し、会議費や旅費の執行はコロナ禍前と同様の状況に戻ってきた。同時に、新型コロナウイルス感染症の影響下で活用してきたオンラインでの事業や会議も継続し、対面とオンラインの使い分けによる事業を実施した。また、公益財団法人イオン環境財団との連携協定締結をはじめ、他の団体や民間企業との連携事業を新たに開始することができた。

結果として261,622円の繰越を行う状況となった。

(2) 重点事業について

①社会的な認知向上

JGN は、2021 年に開始した「国連海洋科学の 10 年」の初年度に「国連海洋科学の 10 年における JGN 取組推進宣言」を発表し、各地域での活動を推進してきており、2023 年 3 月 11 日・12 日に「国際海洋ゴミシンポジウム in 隠岐」を隠岐ジオパークとの共催でハイブリッド開催した。シンポジウムは英語で行い、世界ジオパークネットワーク、アジア太平洋ジオパークネットワーク、日本ジオパーク委員会からの講演、ヨーロッパのユネスコ世界ジオパークでの活動事例、隠岐ジオパークの中学生、高校生、白山手取川ジオパークの大学生の発表を 2 部構成で実施した。

全国の 804 大学に「GEOPARK magazine Vol.9」を送付し、図書館への配架や学生への周知を依頼したところ、次号以降も図書館に置きたいといった反応があった。また、「大学・大学院でジオパークを研究したい」「ジオパークの仕事に興味がある」という学生や指導教官からの連絡もあり、個別に対応している。

昨年度に続き、「へんさん！にっぽんジオパーク風土記」で各地域の魅力を JGN の YouTube チャンネルにて発信している（これまでの視聴回数は約 12,000 回）。2022 年度は五島列島、下北、十勝岳、土佐清水の 4 地域分を公開した。チラシを作成して配布したところ、民間企業や学生から「おもしろそう」「見てみたい」などの反応があり、視聴後には「クオリティの高さに驚いた」「ジオパークの楽しさがわかった」といった評価もあった。

②組織体制の強化と人材育成

中期計画策定委員会が、全国大会前に中期計画案をまとめ、JGN 会員に周知した上で、全国大会での運営会議、全地域事務局長会議およびメールで意見を募り、集まった意見・コメントを踏まえて案を修正した。これにより、当初の予定から開始時期を延期し、2023 年度から 5 年間を対象とすることになった。今後は、全体で効果的な活用を進めていく予定である。

JGN 主催のオンライン研修を「サステイナブルツーリズム（持続可能な観光）実践編」、「ジェンダー平等にどう取り組むか～日本のジェンダー政策から考える～」、「ジオパークと国立公園の連携に向けて（ジオパーク運営団体事務局対象）」、「ジオパークと国立公園の連携に向けて（一般向け）」の内容で 4 回実施した。オンライン開催の利点をいかし、各回ともに参加者も積極的にリアクション機能の活用や質問をするなど充実した研修会となった。

③オフィシャルパートナーとの連携

認定 NPO 認証取得に向けた東京都との協議を継続した結果、2022 年 8 月 1 日に認定 NPO に認証された。以後は、JGN への寄付が税制上の優遇措置の対象となり得ることを広く周知し、寄付金を募集してきたところである。また、2022 年 3 月 9 日に一般財団法人非営利組織評価センター（JCNE：非営利組織の組織評価を行う日本で初めての第三者審査機関）による「グッドガバナンス認証」を取得したことを周知するチラシを活用し、NPO 法人としての「信頼の証」の可視化向上に取り組んだ。今後さらに、民間企業等への周知強化により寄付金増額につなげたい。

2022年10月22日には、公益財団法人イオン環境財団との包括連携協定を締結し、三陸ジオパークをモデル地域とした連携事業を開始した。地域内外での認知度向上や地域内での連携強化といった課題の解決に向け、事業計画段階から協議を重ねている。

また、民間企業や団体からの照会なども多く、連携について協議してきたところ、炊飯器の販売促進ツールとしてのジオパーク関連商品の活用、一般財団法人国土計画協会発行『人と国土21』2022年7月号の「特集：ジオパークと持続可能な地域づくり」、公益財団法人日本修学旅行協会発行『月刊教育旅行』2023年1月号の「特集：ジオパークで学ぶSDGs」などへの特集記事掲載が実現した。さらに、一般社団法人日本ライダーズフォーラム主催の「にっぽん応援ツーリング」で参加者が制覇を目指すポイントに全国46のジオパークの登録、月刊誌『旅行読売』での日本ジオパーク各地域の紹介記事連載開始などが決定された。

(3) その他の事業について

①普及啓発に関する事業

リーフレット「日本のジオパーク活動」の情報を更新して12,000部発行し、10月に各会員地域に発送した。8ページのパンフレット作成も検討したが、地図入り4ページのものを使いやすいとの会員地域からの意見もあり、4ページリーフレットの更新とした。

2022年4月にリニューアルしたウェブページの「ジオパークな旅」や「ジオパークとは」の説明ページのイラスト（Sasaoka Miho作）に多くの反応があり、イラストを活用したいという会員地域も多かった。

活動状況調査については、各地域の事務局担当者を対象とした調査を9月～10月にかけて実施した。インターネットを使ったアンケート調査を1月に実施し、約1万人に「ジオパークを知っていますか？」と調査した結果、「知っている」は、前回と比べ0.4ポイント増の57.3%で過去最高であった。地域的な傾向は例年同様で、四国地方、中国地方、東北地方、北海道、九州地方、中部地方の順で高いが、都市圏の近畿地方と関東地方はやや低かった。しかし今回は、関東地方でも「知っている」の割合が「知らない」より高くなった。また、同調査では、訪問したジオパークにあまり満足できなかった理由の調査を実施した。その結果、「訪問者の声」には「案内不足、解説施設の不足、訪問したがよくわからない」といった情報発信に関わることや、「交通の便が悪い、駐車場が狭い、飲食店の不足、ごみが落ちている、掃除が行き届いていない」などアクセスや施設、環境や衛生に関わることなど厳しい指摘も含まれるが、「改善への提案」と受けとめ、今後の活動にいかしたい。

全国大会は、3年ぶりの現地開催が実現し700人以上（現地参加登録）が白山手取川に集った。ハイブリッドでの対応などコロナの感染拡大の状況によって柔軟に対応できるよう直前まで調整と工夫がなされ、オンラインでも50人以上参加した。大会テーマ「地球を旅する」のもと、SDGsチャレンジに取り組み、マイボトル等の持参が呼びかけられた。また、初めてユースセッションが開催され、若者同士が交流・対話を通じて地域や地球の未来を考える機会となった。開会式では、前理事長の米田徹 JGN 顧問に感謝状を授与し、グッドプラクティスとして評価された取り組みについて三笠ジオパークからの発表後、JGN 表彰状を授与した。

さらに、2021年度に立ち上げたジオパーク各地域のイベント情報を網羅したサイト「Geo Go To (ジオゴト)」には、新規イベントを598

件、アイテムを網羅したサイト「ジオゴトアイテム」には48件の新アイテムを追加掲載した。

②情報収集発信に関する事業

GEOPARK magazine Vol.10を3月1日に発行しオンラインでの注文も受けている。オンラインショップSTORESにショップを開設し新たな販路を開拓した。これにより手数料の削減、支払方法の選択肢増による購入者の利便性向上に努めた。巻頭特集「ガイドと旅するジオパーク」では、ウォータースポーツやトレッキング、サイクリングなどアクティビティを紹介し、グラビアではジオパークを走る列車の旅を取り上げた。また、次世代ユネスコ国内委員会でジオパークとの連携に取り組んでいる5名の若者からのメッセージや白山手取川大会での活動写真を掲載した。GEOPARK magazine Vol.10は3月初旬に各地域へお届けし、様々な場所で販売、配布されている。

③活動支援に関する事業

2022年12月20日に、理事等による要望活動を実施し、NHK 渋谷放送センターメディア総局第3制作センター長および政策主幹、ジオパークによる地域活性化推進議員連盟会長および事務局長、環境大臣、文部科学副大臣、財務副大臣、国土政策局長、内閣府特命大臣と面談し支援・協力を求めた。理事長をはじめ理事等、随行者および事務局を含め合計21名が参加した。後日、環境省から連携強化について連絡があり、事務局が協議した結果、研修会での講師、パンフレットへのJGN情報追加記載などが実現した。

④認定審査に関する事業

日本ジオパーク委員会(JGC)の審査に対する信頼性を高めるため、JGNとして現地調査員等についてのアンケートを実施し、疑義のあった事例については現地ヒアリング等を行うこととしている。2022年度調査分については10地域中全地域から回答があったが、特段問題となる意見はなかった。なお、JGCの現地調査にかかる経費報告を各地域からとりまとめ、社会通念上適切な範囲での対応となっているかの確認をしている。

また、文部科学省からの委託を受け、日本ジオパーク委員会の事務局業務を遂行している。JGNとしては、日本におけるジオパーク活動はすべてユネスコ理念の理解・普及に貢献するものであるという共通認識のもと、審査等にかかる委託費の不足分確保を求めている。委託事業の一部として、JGC主催の研修会開催を3年連続オンラインで実施し、JGN会員地域から継続希望が多く寄せられている。さらに、同委託事業では、世界ジオパークネットワークのユース日本代表1名を2022年9月13日から17日にBatur ユネスコ世界ジオパーク(インドネシア、バリ島)で開催された第1回UNESCO Global Geopark Youth Forum Seminar & Summer Campに派遣し、他国の若者たちとの交流・意見交換を支援した。

⑤その他目的を達成するために必要となる事業

新型コロナウイルス感染症への対応として、会員間のコミュニケーション不足を補うため、2020年度からJGNオンラインカフェを定期的で開催してきたが、2022年度は、合計9回不定期に開催した。全国的に対面での事業・会議が増える中、会員からの提案・企画運営によって開催したものである。対象やテーマによって開催日時の調整を行い、専門員を主な対象としたミーティング、ガイドの提案・広報によるガイド道具についての情報交換、オンライン交流会など、誰でも参加しやすいネットワーク運営に努めた。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容（単位：円）	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費 (単位：千円)
①普及啓発に関する事業	普及啓発用広報物作成 ・ JGN リーフレット・パンフレット 運送料 49,223- ・ 日本地質学会フォトコンテスト後援 30,000-	(A)2022.5～3 (B)東京ほか (C)20人	(D)不特定多数 (E)－	79
	ウェブサイト管理 ・ ウェブサイト管理等 362,870- ・ イベントサイト運営管理 396,000-	(A)2022.5～4 (B)東京 (C)20人	(D)不特定多数 (E)－	759
	各種調査活動 ・ 活動状況調査 2022(Web 調査) 682,000- ・ 人件費(10%) 909,872- ・ 旅費交通費(10%) 42,895- ・ 事務所費(10%) 419,063-	(A)2022.7～2 (B)東京ほか (C)60人	(D)不特定多数 (E)－	2,054
	ジオパーク関連イベント ・ JGN オンライン研修 講師謝金 24,000- ・ こども霞が関見学デー 4,574-	(A)2022.5～3 (B)東京 (C)60人	(D)不特定多数 (E)－	29
	大会及び研修会等 ・ 全国大会負担金等、旅費等 676,340- ・ 全国研修会等会議費、旅費等 165,310- ・ JGN 表彰 9,020-	(A)2022.5～4 (B)白山市ほか (C)300人	(D)不特定多数 (E)－	851
	アンバサダー養成 ※実施なし	(A)－ (B)－ (C)－	(D)－ (E)－	0

	<p>2022 普及啓発事業（各種連携事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際海洋ゴミシンポジウム in 隠岐 旅費 184,040- ・へんさん！にっぽんジオパーク風土記チラシ印刷 27,280- ・JGN リーフレット修正増刷 245,300- ・人件費(10%) 909,872- ・旅費交通費(10%) 42,895- ・事務所費(10%) 419,063- 	(A)2022.5~3 (B)各地 (C)100人	(D)不特定多数 (E) -	1,828
②情報収集発信に関する事業	<p>会員募集活動・各ジオパーク訪問相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員、準会員訪問相談、勧誘活動 205,810- ・協賛会員継続願送料 12,360- ・寄付金お礼状 3,780- 	(A)2022.5~4 (B)東京ほか (C)100人	(D)不特定多数 (E) -	222
	<p>ジオパークマガジン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Vol.10 制作、発送費等 <ul style="list-style-type: none"> ・編集、印刷委託料他 3,624,881- ・宣伝広告費（無料配布分等） 915,594- ・通信運搬費（マガジン郵送料、はがき） 192,178- ・支払手数料（Amazon 販売手数料等） 17,263- ・人件費(40%) 3,639,487- ・旅費交通費(40%) 171,580- ・事務所費(40%) 1,676,252- 	(A)2022.7~3 (B)東京ほか (C)100人	(D)不特定多数 (E) -	10,237
	<p>普及イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三陸ジオパークだよ！～ジオタウン@釜石～ 58,138- ・イオンモール与野イベント 1,460- 	(A)2023.1~3 (B)岩手県ほか (C)60人	(D)不特定多数 (E) -	60
	<p>ジオパーク関連商品開発等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球時間の旅在庫販売分業務委託費 90冊 237,600- ・地球時間の旅寄贈分宣伝広告費 22冊 58,080- 	(A)2022.5~4 (B)東京ほか (C)10人	(D)不特定多数 (E) -	296

③活動支援に関する事業	地域支援活動 ・ユネスコスクール全国大会 運送料 6,210- ・ぼうさいこくたい旅費 47,360-	(A)2022.5~4 (B)東京ほか (C)30人	(D)不特定多数 (E)-	53
	中期計画策定 ・策定支援委託 660,000- ・旅費 359,790-	(A)2022.5~4 (B)東京 (C)60人	(D)不特定多数 (E)-	1,020
	各種要望活動 ・JGN 理事要望活動会議費 13,188- ・交通費等 40,700-	(A)2022.12 (B)東京 (C)30人	(D)不特定多数 (E)-	54
④認定審査に関する事業	認定審査支援事業 (JGN 主体) ・会議費、旅費等 243,190- ・人件費(20%) 1,819,743- ・旅費交通費(20%) 85,790- ・事務所費(20%) 838,126-	(A)2022.5~4 (B)東京ほか (C)60人	(D)不特定多数 (E)-	2,987
	文部科学省委託事業 (JGC 事務局業務) ・人件費 (事業割当) 3,095,010- ・業務委託費 71,500- ・謝金 (JGC 会議等) 502,000- ・会議費 484,104- ・旅費 1,438,153-	(A)2022.5~3 (B)東京ほか (C)60人	(D)不特定多数 (E)-	5,590
⑤その他目的を達成するために必要な事業	特記事項なし	(A)- (B)- (C)-	(D)- (E)-	0

参考：管理費（単位：円）

- ・事業費配賦分の管理費の内、人件費 1,819,743-は、正職員 1 人+臨時職員 2 人 12,193,727-から文部科学省委託事業割当人件費 3,095,010-を除く 20%分であり、管理費の給与手当に含まれる
- ・事業費配賦分の管理費の内、旅費交通費 85,790-は、事務局職員通勤費 428,950-の 20%分であり、管理費の旅費交通費に含まれる
- ・事業費配賦分の管理費の内、事務所費 838,126-は、事務所賃借料+電気・水道+電話・通信+複合機 4,190,630-の 20%分（端数処理あり）であり、管理費の事務所費に含まれる
- ・管理費の人件費 5,465,326-は、給与手当 2,986,409-（上記の事業費配賦分 1,819,743-、糸魚川市人件費負担金 1,166,666-）、法定福利費 2,039,610-、福利厚生費 439,307-
- ・その他経費は、業務委託費 1,143,803-、諸謝金 42,350-、旅費交通費 917,980-、会議費 167,014-、通信運搬費 63,673-、事務所費 1,228,846-、消耗品費(什器、OA 機器、事務用品等) 738,918-、減価償却費 117,136-、保険料 19,810-、諸会費 103,200-、研修費 85,000-、租税公課 1,870-、振込手数料 39,872-、雑費(書籍購入)3,300-

2022年度 活動計算書

2022年5月1日から2023年4月30日まで

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	18,400,000	
準会員受取会費	2,000,000	
		20,400,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	521,727	
		521,727
3 受取助成金等		
受取助成金	0	
受取負担金	1,357,787	
		1,357,787
4 事業収益		
1 普及啓発に関する事業	65,560	
2 情報収集発信に関する事業	6,476,860	
3 活動支援に関する事業	0	
4 認定審査に関する事業	7,695,297	
5 その他目的を達するために必要な事業	0	
		14,237,717
5 その他収益		
受取利息	246	
雑収益	1,187	
		1,433
経常収益計		36,518,664
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	10,373,984	
人件費計	10,373,984	
(2) その他経費		
業務委託費(事業)	6,034,851	
諸謝金(事業)	526,000	
宣伝広告費(事業)	1,276,254	
会議費(事業)	697,502	
旅費交通費(事業)	3,562,393	
通信運搬費(事業)	267,849	
消耗品費(事業)	1,324	
事務所費(事業)	3,352,504	
租税公課(事業)	0	
支払手数料(事業)	17,263	
雑役務費(事業)	9,020	
雑費(事業)	0	
交際費(事業)	0	
その他経費計	15,744,960	
事業費計		26,118,944
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	2,986,409	
法定福利費	2,039,610	
福利厚生費	439,307	
人件費計	5,465,326	
(2) その他経費		
業務委託費	1,143,803	
諸謝金	42,350	
会議費	167,014	
旅費交通費	917,980	
通信運搬費	63,673	
消耗品費	738,918	
修繕費	0	
事務所費	1,228,846	
減価償却費	117,136	
保険料	19,810	
諸会費	103,200	
研修費	85,000	
租税公課	1,870	
支払手数料	39,872	
交際費	0	
雑費	3,300	
その他経費計	4,672,772	
管理費計		10,138,098
経常費用計		36,257,042
当期経常増減額		261,622
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		261,622
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		191,622
前期繰越正味財産額		30,411,914
次期繰越正味財産額		30,603,536

貸借対照表

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク
全事業所

[税込] (単位: 円)
2023年 4月30日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
小口 現金		49,749	
当座 預金		668,125	
普通 預金		27,518,503	
現金・預金 計		<u>28,236,377</u>	
(棚卸資産)			
貯 蔵 品		2,120,716	
棚卸資産 計		<u>2,120,716</u>	
(その他流動資産)			
未 収 金		330,000	
その他流動資産 計		<u>330,000</u>	
流動資産合計			30,687,093
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品		175,704	
有形固定資産 計		<u>175,704</u>	
(投資その他の資産)			
保 証 金		914,288	
投資その他の資産 計		<u>914,288</u>	
固定資産合計			1,089,992
資産の部 合計			<u>31,777,085</u>
		《負債の部》	
【流動負債】			
未 払 金		750,200	
預 り 金		353,349	
未払法人税等		70,000	
流動負債 計		<u>1,173,549</u>	
負債の部 合計			1,173,549
		《正味財産の部》	
【正味財産】			
前期繰越正味財産額		30,411,914	
当期正味財産増減額		191,622	
正味財産 計		<u>30,603,536</u>	
正味財産の部 合計			30,603,536
負債・正味財産合計			<u>31,777,085</u>

計算書類の注記

特定非営利活動法人日本ゾウのネットワーク

2023年 4月30日 現在

【重要な会計方針】

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

【事業別損益の状況】

事業別損益の状況は以下の通りです。

部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

【有形固定資産の増減内訳】

有形固定資産の増減は以下の通りです。

[税込] (単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器 備品	610,082	0	0	610,082	434,378	175,704
合計	610,082	0	0	610,082	434,378	175,704

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込] (単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配人等との取引
情報収集発信に関する事業 機関誌販売	4,804,250	0	1,083,500
活動計算書計	4,804,250	0	1,083,500

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】

・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当については従事割合に基づき按分しています。事務所費については使用割合に基づき按分しています。

事業費の内訳（別紙）

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク

2023年 4月30日 現在

(1/5)

[税込] (単位: 円)

科目	1-1普及啓発用広報物作成	1-2ウェブ・サイト管理	1-3各種調査活動	1-4ジオパーク関連イベント	1-5大会及び研修会等
(人件費)					
給料 手当(事業)			909,872		
人件費計	0	0	909,872	0	0
(その他経費)					
業務委託費(事業)		758,870	682,000		
諸謝金(事業)				24,000	
宣伝広告費(事業)	30,000				
会議費(事業)					200,210
旅費交通費(事業)			42,895	3,250	638,640
通信運搬費(事業)	49,223				2,800
消耗品費(事業)				1,324	
事務所費(事業)			419,063		
支払手数料(事業)					
雑役務費(事業)					9,020
その他経費計	79,223	758,870	1,143,958	28,574	850,670
合計	79,223	758,870	2,053,830	28,574	850,670

(2/5)

[税込] (単位: 円)

科目	1-6アンバサダー養成	1-7各種連携事業	2-1会員募集活動	2-2ジオパークマガジン	2-3普及イベント
(人件費)					
給料 手当(事業)		909,872		3,639,487	
人件費計	0	909,872	0	3,639,487	0
(その他経費)					
業務委託費(事業)				3,624,881	
諸謝金(事業)					
宣伝広告費(事業)		272,580		915,594	
会議費(事業)					
旅費交通費(事業)		226,935	205,810	171,580	58,300
通信運搬費(事業)			16,140	192,178	1,298
消耗品費(事業)					
事務所費(事業)		419,063		1,676,252	
支払手数料(事業)				17,263	
雑役務費(事業)					
その他経費計	0	918,578	221,950	6,597,748	59,598
合計	0	1,828,450	221,950	10,237,235	59,598

(3/5)

[税込] (単位: 円)

科目	2-4ｼﾞ ﾎﾝ ﾉ ﾉ 関連商品開発等	3-1-1SDGs&ESD活動	3-1-2国際連携活動	3-1-3ｸﾞﾘｰﾝ 推進活動	3-1-4防災教育活動等
(人件費)					
給料 手当(事業)					
人件費計	0	0	0	0	0
(その他経費)					
業務委託費(事業)	237,600				
諸謝金(事業)					
宣伝広告費(事業)	58,080				
会議費(事業)					
旅費交通費(事業)					47,360
通信運搬費(事業)		6,210			
消耗品費(事業)					
事務所費(事業)					
支払手数料(事業)					
雑役務費(事業)					
その他経費計	295,680	6,210	0	0	47,360
合計	295,680	6,210	0	0	47,360

(4/5)

[税込] (単位: 円)

科目	3-2中期計画策定	3-3各種要望活動	4-1認定審査支援	4-2文部科学省委託	4.認定審査に関する事業(共通)
(人件費)					
給料 手当(事業)			1,819,743	3,095,010	
人件費計	0	0	1,819,743	3,095,010	0
(その他経費)					
業務委託費(事業)	660,000			71,500	
諸謝金(事業)				502,000	
宣伝広告費(事業)					
会議費(事業)		13,188		484,104	
旅費交通費(事業)	359,790	40,700	328,980	1,438,153	
通信運搬費(事業)					
消耗品費(事業)					
事務所費(事業)			838,126		
支払手数料(事業)					
雑役務費(事業)					
その他経費計	1,019,790	53,888	1,167,106	2,495,757	0
合計	1,019,790	53,888	2,986,849	5,590,767	0

(5/5)

[税込] (単位:円)

科目	5-1その他	管理部門	合計
(人件費)			
給料 手当(事業)			10,373,984
人件費計	0	0	10,373,984
(その他経費)			
業務委託費(事業)			6,034,851
諸謝金(事業)			526,000
宣伝広告費(事業)			1,276,254
会議費(事業)			697,502
旅費交通費(事業)			3,562,393
通信運搬費(事業)			267,849
消耗品費(事業)			1,324
事務所費(事業)			3,352,504
支払手数料(事業)			17,263
雑役務費(事業)			9,020
その他経費計	0	0	15,744,960
合計	0	0	26,118,944

財 産 目 録

特定非営利活動法人日本ジ`オパ`-ネットワーク
全事業所

[税込] (単位: 円)
2023年 4月30日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

小口 現金	49,749
当座 預金	668,125
ゆうちょ銀行(寄付金)	(668,125)
普通 預金	27,518,503
ゆうちょ銀行	(18,493,430)
三菱UFJ銀行	(4,779,916)
住信SBI	(4,245,157)
現金・預金 計	<u>28,236,377</u>

(棚卸資産)

貯 蔵 品	2,120,716
棚卸資産 計	<u>2,120,716</u>

(その他流動資産)

未 収 金	330,000
その他流動資産 計	<u>330,000</u>

流動資産合計

30,687,093

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品	175,704
有形固定資産 計	<u>175,704</u>

(投資その他の資産)

保 証 金	914,288
投資その他の資産 計	<u>914,288</u>

固定資産合計

1,089,992

資産の部 合計

31,777,085

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	750,200
預 り 金	353,349
市民・区民税預り金	(165,700)
社会保険等預り金	(171,245)
税金預り金	(16,404)
未払法人税等	70,000
流動負債 計	<u>750,200</u>

流動負債 計

1,173,549

負債の部 合計

1,173,549

正味財産

30,603,536

2022年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○ 理事 ・監事	フルカリュウザブロウ	[REDACTED]	2022年 5月 1日	年 月 日
		古川 隆三郎		2023年 4月 30日	年 月 日
2	○ 理事 ・監事	カツラユウソウ		2022年 5月 1日	年 月 日
		桂 雄三		2023年 4月 30日	年 月 日
3	○ 理事 ・監事	ウエタソウイチロウ		2022年 5月 1日	年 月 日
		植田 壯一郎		2023年 4月 30日	年 月 日
4	○ 理事 ・監事	キクチユタカ		2022年 5月 1日	年 月 日
		菊地 豊		2023年 4月 30日	年 月 日
5	○ 理事 ・監事	クマカワリサカエ		2022年 5月 1日	年 月 日
		熊川 榮		2023年 4月 30日	年 月 日
6	○ 理事 ・監事	コシカワシンイチ	2022年 5月 1日	年 月 日	
		越川 信一	2023年 4月 30日	年 月 日	
7	○ 理事 ・監事	サトウヨシオキ	2022年 5月 1日	年 月 日	
		佐藤 義興	2023年 4月 30日	年 月 日	
8	○ 理事 ・監事	ヨネタトオル	2022年 5月 1日	年 月 日	
		米田 徹	2022年 5月 29日	年 月 日	
9	○ 理事 ・監事	ミヤシタソウイチロウ	2022年 5月 1日	年 月 日	
		宮下 宗一郎	2023年 3月 3日	年 月 日	
10	○ 理事 ・監事	ヤマタノリアキ	2022年 5月 1日	年 月 日	
		山田 憲昭	2023年 3月 10日	年 月 日	

事業報告用

11	理事・監事	アラキテルアキ 荒木輝明	2022年 5月29日 ~ 2023年 4月30日	年 月 日 ~ 年 月 日
12	理事・監事	エントウカスオ 遠藤和夫	2022年 5月29日 ~ 2023年 4月30日	年 月 日 ~ 年 月 日
13	理事・監事	シノタヨウシ 篠田洋司	2022年 5月29日 ~ 2023年 4月30日	年 月 日 ~ 年 月 日
14	理事・監事	タカイミホ 高井美穂	2022年 5月29日 ~ 2023年 4月30日	年 月 日 ~ 年 月 日
15	理事・監事	サカノウエヒロユキ 坂之上浩幸	2022年 5月29日 ~ 2023年 4月30日	年 月 日 ~ 年 月 日
16	理事・監事	サトウカスオ 佐藤一夫	2022年 5月29日 ~ 2023年 4月30日	年 月 日 ~ 年 月 日
17	理事・監事	サカシタカスユキ 坂下一幸	2022年 5月 1日 ~ 2022年 5月28日	年 月 日 ~ 年 月 日
18	理事・監事	マヤトシハル 真屋敏春	2022年 5月 1日 ~ 2022年 5月28日	年 月 日 ~ 年 月 日
19	理事・監事	モリタシンイチロウ 森田新一郎	2022年 5月 1日 ~ 2022年 5月28日	年 月 日 ~ 年 月 日
20	理事・監事	ササキシユウイチ 佐々木修一	2022年 5月 1日 ~ 2022年 5月28日	年 月 日 ~ 年 月 日
21	理事・監事	カツマタヒロユキ 勝俣浩行	2022年 5月 1日 ~ 2022年 5月28日	年 月 日 ~ 年 月 日

社員のうち10人以上の者の名簿

2023年4月30日現在

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク

	氏名	住所又は居所
1	様似町アポイ岳ジオパーク推進協議会 会長 荒木 輝明	北海道様似郡様似町大通1丁目21番地
2	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会 会長 下道 英明	北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉142番地
3	糸魚川ジオパーク協議会 会長 米田 徹	新潟県糸魚川市一の宮1-2-5
4	南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク協議会 会長 白鳥 孝	長野県伊那市新田3050番地
5	山陰海岸ジオパーク推進協議会 会長 関貫 久仁郎	兵庫県豊岡市幸町7-11
6	室戸ジオパーク推進協議会 会長 植田 壯一郎	高知県室戸市室戸岬町1810-2
7	島原半島ジオパーク協議会 会長 古川 隆三郎	長崎県島原市平成町1番地1
8	恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会 会長 水上 実喜夫	福井県勝山市元町1-1-1
9	一般社団法人 隠岐ジオパーク推進機構 理事長 池田 高世偉	島根県隠岐郡隠岐の島町中町目貫の四61番地
10	阿蘇ジオパーク推進協議会 会長 佐藤 義興	熊本県阿蘇市一の宮町宮地4607-1
11	白滝ジオパーク推進協議会 会長 佐々木 修一	北海道紋別郡遠軽町白滝138-1
12	伊豆大島ジオパーク推進委員会 会長 三辻 利弘	東京都大島町元町1-1-14

13	霧島ジオパーク推進連絡協議会 会長 中重 真一	鹿児島県霧島市国分中央 3-45-1
14	磐梯山ジオパーク協議会 会長 遠藤 和夫	福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093
15	ジオパーク下仁田協議会 会長 原 秀男	群馬県甘楽郡下仁田町青倉158-1
16	白山手取川ジオパーク推進協議会 会長職務代理者 米永 龍介	石川県白山市倉光2-1
17	秩父まるごとジオパーク推進協議会 会長 北堀 篤	埼玉県秩父市熊木町9-5
18	男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 会長 菅原 広二	秋田県男鹿市船川港船川字泉台66-1
19	箱根ジオパーク推進協議会 会長 勝俣 浩行	神奈川県足柄下郡箱根町湯本256
20	佐渡ジオパーク推進協議会 会長 渡辺 竜五	新潟県佐渡市両津湊198番地
21	銚子ジオパーク推進協議会 会長 越川 信一	千葉県銚子市八木町1777-1
22	一般社団法人 美しい伊豆創造センター 代表理事 豊岡 武士	静岡県伊豆市修善寺838番地の1
23	八峰白神ジオパーク推進協議会 会長 堀内 満也	秋田県山本郡八峰町浜目名湯字目長田118番地
24	四国西予ジオパーク推進協議会 会長 管家 一夫	愛媛県西予市城川町下相945番地
25	湯沢市ジオパーク推進協議会 会長 佐藤 一夫	秋田県湯沢市佐竹町1-1
26	三陸ジオパーク推進協議会 会長 山本 正徳	岩手県宮古市五月町1-20
27	おおいた姫島ジオパーク推進協議会 会長 藤本 昭夫	大分県東国東郡姫島村1671-1

28	おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会 会長 川野 文敏	大分県豊後大野市三重町市場 1200
29	三笠ジオパーク推進協議会 会長 西城 賢策	北海道三笠市幸町2番地
30	桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会 会長 下鶴 隆央	鹿児島県鹿児島市山下町11-1
31	とがち鹿追ジオパーク推進協議会 会長 喜井 知己	北海道河東郡鹿追町瓜幕西29線28
32	南紀熊野ジオパーク推進協議会 会長 岸本 周平	和歌山県東牟婁郡串本町潮岬2838-3
33	一般社団法人 立山黒部ジオパーク協会 会長 中尾 哲雄	富山県富山市牛島新町5-5
34	苗場山麓ジオパーク振興協議会 会長 桑原 悠	新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡乙835
35	Mine秋吉台ジオパーク推進協議会 会長 篠田 洋司	山口県美祢市秋芳町秋吉11237-862
36	三島村ジオパーク推進連絡協議会 会長 大山 辰夫	鹿児島県鹿児島市名山町12-18
37	栗駒山麓ジオパーク推進協議会 会長 佐藤 智	宮城県栗原市栗駒松倉東貴船5番地
38	下北ジオパーク推進協議会 会長職務代理者 野崎 尚文	青森県むつ市中央1-8-1
39	筑波山地域ジオパーク推進協議会 会長 五十嵐 立青	茨城県つくば市研究学園1-1-1
40	浅間山ジオパーク推進協議会 会長 熊川 榮	群馬県吾妻郡嬭恋村大字鎌原494-45
41	一般社団法人鳥海山・飛島ジオパーク推進協 会 会長 市川 雄次	秋田県にかほ市象潟町字大塩越36-1
42	島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推 進協議会 会長 上定 昭仁	島根県松江市末次町86番地

43	萩ジオパーク推進協議会 会長 田中 文夫	山口県萩市大字江向510
44	土佐清水ジオパーク推進協議会 会長 泥谷 光信	高知県土佐清水市三崎4032-2
45	十勝岳ジオパーク推進協議会 会長 角和 浩幸	北海道上川郡美瑛町本町4丁目6番1号
46	五島列島ジオパーク推進協議会 会長 野口 市太郎	長崎県五島市福江町1番1号
47	古関東深海盆ジオパーク推進協議会 会長 相川 信之	千葉県香取市本矢作釜内谷1277-1
48	宮城県 蔵王町 町長 村上 英人	宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦北10
49	飛騨山脈ジオパーク推進協議会 会長 田中 明	岐阜県高山市奥飛騨温泉郷村上1689-3
50	那須烏山ジオパーク構想推進協議会 会長 川俣 純子	栃木県那須烏山市大金240
51	三好ジオパーク構想推進協議会 会長 高井 美穂	徳島県三好市池田町マチ2145-1
52	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会 会長 今津 寛介	北海道旭川市6条通8丁目セントラル旭川ビル7階
53	喜界町 町長 隈崎 悦男	鹿児島県大島郡喜界町大字湾1746番地